

平成25年度 魚沼市体育部 活動報告

部長 篠原 敏光

1 研究主題 コーディネーション能力の育成による体育授業の充実

2 研究の概要

(1) 第1回部会

- ①期 日 平成25年 4月17日(水)
- ②会 場 魚沼市立堀之内中学校
- ③内 容
 - 顧問、部長、会員の自己紹介
 - 年間活動計画協議 ※市内スキー大会の持ち方等
 - 各校の体育指導情報交換 ※体力テスト結果等の資料を参照

(2) 第2回部会

- ①期 日 平成25年 8月 8日(木)
- ②会 場 魚沼市立宇賀地小学校
- ③内 容
 - コーディネーショントレーニングの指導方法等の実技研修
講師 小千谷市スポーツ推進委員 遠藤 則子 様
 - 平成25年度新潟県小学校教育課程研究集会の伝達講習
講師 魚沼市立須原小学校 近藤 和行 教諭

3 研究の実際

(1) コーディネーショントレーニング

コーディネーション能力（自分の体を思った通り＝イメージ通りに操ることができる能力）を育てることで、運動の楽しさや記録を更新することの喜びを味わわせ、生涯に渡って運動に親しむ人間を育てることができる。この観点として以下の7つが挙げられる。

- ①バランス ②リズム化 ③反応 ④定位 ⑤分化 ⑥変換 ⑦連結

これらの理念を基礎に、以下のような実技研修を行った。

<ウォームアップトレーニング>

- ・なべなべそこぬけ ・二人知恵の輪 ・上肢の2拍子3拍子
- ・上下肢 マリオネット ・手押しバランス数種 ・ジャンケンベースの動き数種

<走力> ストライドやピッチを変えた数種の運動

<投擲力> ヴォーテックスでの実践例

(2) 教育課程伝達講習

教育課程研究集会及び国立教育政策研究所教育課程調査官 高田彬成氏の資料「体育科指導の五つの視点」を基に、伝達内容と体育部の研修との関わりから、体育授業の指導改善の視点を模索した。

4 成果と課題

本部会の研修の根幹を成す「生涯にわたって運動に親しむ子どもを育てる」について、コーディネーショントレーニングと伝達講習の内容が合致し、有意義な研修が実践できた。今後は具体的な実践の一般化を図り、成果を形として集積していく。